

平成二十八年(2016) 1月22日(金曜日) 旧暦十二月十三日
朝日カルチャーセンター 千葉 加藤 徹

	二十四節気	中国の七十二候		
季冬	小寒 1月6日 大寒 1月21日	雁北郷 鷄始乳	鵲始巢 鷲鳥厲疾	野鷄始雊 水沢腹堅
孟春	立春 2月4日 雨水 2月19日	東風解凍 獺祭魚	蟄虫始振 鴻雁来	魚上冰 草木萌動
仲春	啓蟄 3月5日 春分 3月20日	桃始華 玄鳥至	倉庚鳴 雷乃発声	鷹化為鳩 始雷
季春	清明 4月4日 穀雨 4月20日	桐始華 萍始生	田鼠化為鴽 鳴鳩抃其羽	虹始見 戴勝降于桑

旧暦一月一日 中国の春節 2016年は2月8日

★年の内に春は来にけりひととせを去年こぞとはいはむ今年とはいはむありわらのもとかた
在原元方(9世紀〜10世紀)

上田城址

土屋竹雨(1887-1958)

英雄父子據孤城 英雄 父子 孤城に拠り
曾扼関東十萬兵 曾て扼す 関東十萬の兵
故國蒿萊刺樓櫓 故国 蒿萊 楼櫓を刺し
亂山如戟勢崢嶸 乱山 戟の如く 勢ひ崢嶸

ウエダジョウシ。ツチヤチクウ。エイユウ、フシ、コジョウにヨリ、カツてヤクス カ
ントウ ジュウマンのヘイ。ココク コウライ ロウロをアマシ、ランザン ゲキのゴト
く イキオイソウコウ。

○上田城真田氏の居城。長野県上田市に城跡が残る。○土屋竹雨漢詩人。大東文化大
学の初代学長。上田城の跡の入口にある石碑にも、この漢詩が刻まれている。○英雄父
子真田昌幸(さなだ まさゆき)と、彼の息子で平成二十八年のNHK大河ドラマの主
人公である真田幸村(ゆきむら)こと真田信繁(のぶしげ)を指す。○曾扼関東十萬兵16
00年、関ヶ原の戦いの直前、上田城の真田軍約三千が、徳川秀忠が率いる三万八千の
兵と戦って勝利した「第二次上田合戦」を指す。「十萬」は詩的な誇張。○蒿萊生い茂
った雑草。○楼櫓城の高楼や、やぐら。○乱山入り乱れるようにそびえ立つ高い山や
低い山。○戟古代中国の「ほこ」の一種。○崢嶸山が険しいさま。

感事 事に感ず

于瀆(9世紀後半ころ活躍)

花開蝶滿枝	花開けば蝶枝に満つ
花謝蝶還稀	花謝すれば蝶還た稀なり
惟有舊巢燕	惟旧巢の燕有りて
主人貧亦歸	主人貧しきも亦た帰る

コトにカンズ。ウフン。ハナ ヒラけば チョウ エダにミツ。ハナ シヤすれば チョウ マタ マレなり。タダ キウソウのツバメ アリて、シュジン マズしきも マタ カエる。

○花開||花が咲くこと。漢文の「咲」は「笑」の異体字で、これを「花が咲く」の意味に使うのは日本語。○花謝||花が散ること。「新陳代謝」の「謝」。

gǎn shì yú fēn huā kāi dié mǎn zhī huā xiè dié huán xī

wéi yǒu jiù cháo yàn zhǔ rén pín yì guī

★「夏になったら鳴きながら、必ず帰ってくるあのツバクロ(燕)さえも、何かを境にぱったり姿を見せなくなる事だつて、あるんだぜい」 映画「男はつらいよ」第七作より

江南逢李龜年 江南にて李龜年に逢ふ

杜甫(712-770)

岐王宅裏尋常見	岐王の宅裏 尋常に見
崔九堂前幾度聞	崔九の堂前 幾度か聞く
正是江南好風景	正に是れ 江南の好風景
落花時節又逢君	落花の時節 又 君に逢ふ

コウナンにてリキネンにアウ。トホ。キオウのタクリ、ジンジョウにミ、サイキウウのドウゼン、イクタビカキク。マサにコレ コウナンのコウフウケイ。ラッカのジセツ マタ キミにアウ。

○江南||長江の南。普通は長江の下流域の南部を指すが、この詩では洞庭湖の南のあたりを指す。杜甫は、この詩を書いた年の暮れに亡くなった。○李龜年||唐の玄宗皇帝に寵愛された男優兼歌手。○岐王||玄宗皇帝の弟。○崔九||名門貴族である崔氏の九番目の男子。崔滌(さいでき)。○風景||風光。日本語の「風景」と若干ニュアンスが異なる。○君||李龜年を指して「君」と呼んでいる。

jiang1 nan2 feng2 li3 gui1 nian2. du4 fu3.

qi2 wang2 zhai2 li3 xun2 chang2 jian4. cui1 jiu3 tang2 qian2 jiu3 du4 wen2.

zheng4 shi4 jiang1 nan2 hao3 feng1 jing3. luo4 hua1 shi2 jie2 you4 feng2 jun1.

★「久旱逢甘霖、他郷遇故知。洞房花燭夜、金榜題名時」(人生四大喜)

詠柳 柳を詠ず

賀知章(659-744)

碧玉妝成一樹高 碧玉 粧ひ成りて 一樹 高し
萬條垂下綠絲條 万条 垂れ下る 緑糸の条
不知細葉誰裁出 知らず 細葉 誰か裁ち出づる
二月春風似剪刀 二月の春風は剪刀に似たり

ヤナギをエイズ。ガチシヨウ。ヘキギヨク、ヨソオイナリて イチジュ タカシ。バン
ジヨウ タレクダる リヨクシのジヨウ。シラズ サイヨウ タレカタチイずる。ニガツ
のシュンプウは セントウにニたり。

○碧玉＝美少女の名前。この詩では新緑の柳の木をたとえる。○二月＝新暦では三月くらい。○剪刀＝はさみ。この詩は「天工」「天功」「造化」の妙を詠んだもの。

bi4 yu4 zhuang1 cheng2 yil shu4 gaol. wan4 tiaoz chui2 xia4 lv4 sil tiaoz. bu4 zhi1 xia yez
shui2 cai2 chui. er4 yue4 chun1 feng1 si4 jian3 dao1. yong3 liu3 he4 zhi1 zhang1

★伊藤仁斎『童子問』卷之中第七十章「造化之工、亦何巧哉」(造化の工、亦た何ぞ巧みなるや。ゾウカのコウ、またナンゾタクみなるや)

題猿猴捉月圖 猿猴捉月の図に題す

加藤徹(1963)

水涵月影皎於眞 水 月影を涵せば 真よりも皎し
展轉彌猴盡喪身 展転せる彌猴 尽く身を喪ふ
我不愚蒙窺井底 我は愚蒙ならず 井の底を窺ふ
遙看惡相是何人 遙かに悪相を見る 是れ何人ぞ

エンコウソクゲツのズにダイす。カトウトオル。ミズ、ツキカゲをヒタせば、シンよりもシロシ。テンテンせるビコウ、コトゴトクミをウシナウ。ワレはグモウならず、イのソコをウカガウ。ハルかにアクソウをミル、コレナンピトぞ。

○申年の正月にちなんだ拙作。